



0

0

35-10-3

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A 15 35-10-3

国立公文書館

分類

(A) (B)

配架番号

A

1

5-10-3

警備局係名簿

SPECIAL ATTENTION

JAPANESE SPECIAL

Assign to ORIENTALIA

If other than 1st copy assign to

Authorized by

For examination by

Completed by

Report of searcher.....

Date.....

Call No.

Title not in

Official Cat.

Process File

Another edition

Card No.

In process

Author not established

No conflict

Author established as

警備局係名簿

国立公文書館

分類

(5) (15)

配架番号

A
1

5-10-3

35-10-3

思想旬報

(號外)

昭和三年七月十九日

警保局送存録

米英、重慶三國の對日最後
條件共同声明に對する反響
(第一報)

目次

第一 緒言 情勢

第二 代表的意嚮

一 重臣層

二 軍人層

三 政界

四 新聞界

五 右翼

六 財界

七 生產界

米、英、重慶三国の對日最後條件共同聲明
に對する反響日 (第一報)

第一、綜合状況勢

一、昨午八日各紙朝刊に一斉登載せられたる主
題の件につき、未だ各階層全般の動向は判明
せざるも、東京、愛知、大阪の有識者層及政
界、身界の一部の意向向を綜合するに、本
聲明は敵側が巧妙なる對日威嚇に依る
戰意破砕と、謀略的効果を狙ひたること
共に、各米英国内の和平氣運一掃の彌縫策
として行はれたるものにして、戦争の終結に邁進
する英、國としては之に依り何等方針に変化な

かるべく、一顧の價値なきものとして政府に於て黙殺せるは蓋し當を得たるものと積意をまかせざるもの表裏的には一般の意向向と認めらる。

尚本聲明に蘇聯の介入しおらざりしと云に就しては今後の蘇聯の出兵に對する關心相當強く、一部に於ては我方外交上一脈の望みを期待する希望的觀測、又は逆にゆがし此の一事を以て蘇聯が對日好意を有せりと斷ずるは早計なりとの警戒的觀測を下すもの各所に散見せらる。

三、然れども注意を要すべき意向として本宣言の表現が、例へば我団体の変革乃至抹殺に言及せざる莫、産業、貿易等を或る程度に於て

認むるは、領土、思想、宗教の尊重等所謂
無條件降伏要求にあらざることに就き、予想外
に緩和せる條件なりとの感想を洩らすもの一
部にあり。又以上の空気が、業外國民の底
面に生起しつゝ、あるに非ずやと觀測し、國
内の和平氣運醸成を憂慮する向伸ずし
む少からず。
従つて本聲明に對し、政府が之を黙殺するに
止めたることに因し、不満的言辭を改らし、政
府部内に和平的空氣胚胎せる證左なりと
憶測し、むしろこの際政府は此等々の反駁聲
明を發し、國内に聳し、最中、是遂に對する不
動の決意を堅めしめ、輿意昂揚に資すべき

なりしに何等の措置なかりしは、洵に遺憾なりとの意見を亦相當強し。

三、尚茲に注目すべきは、證券の市場の動向にして本聲明が發せられし以來、米況を呈し、日本郵船株の如きは、千七百九十錢、昨日に於て^三千錢高を示せり。之が原因は、量に屢々敲削が無條件降伏を云々せるに拘らず、今回相當緩和せらるる最後の條件を聲明するに至りたるは、各自國特に米國內に於て厭戰思想瀰漫し、特に英首相チャーチルの辭職は更に之に拍車を與ふるものと予想したる結果にして、早期戦争終結に對する希望的觀測市場に現出しつゝあるものと認めらる。

四、之を要するに多回の三國宣言に對する民心の動向は大體に於て消極的反應と認めざるを得ず、一部に於ては戰局の前途に不安焦慮の念増大せるやに看取され、最近の戰局悪化に伴ふ民心の推移に鑑み、この際政府に於て断乎たる措置を講ぜざるに於ては漸次民心悪化の傾向をたどるものと思料さる。

第二代表的意旨

一 重臣層

「歐洲情勢は相當蘇聯に發言權を持たれることは明で、今後の三頭會談もスターリンの意向が易いものであつて、歐洲は蘇聯化を予想せらる。夫れに歐洲各國とも四ヶ年余の戦争に依つて船舶の不足から米國、濠洲其他南米からの輸送は逼迫を遂げ、本年末當りには深刻な食糧の飢饉を告げるのはなかりかと思ふ。

今朝發表になつた米、英、支三國共同宣言は敵の謀略的手段で國民の戦意阻害を狙つたものであるから、國民は之に耳を藉さず、鋭意戦争一本に邁進すべきである」

(某將軍)

二 軍人層

「米、英、蔣の三國が我に對して、無條件降伏に迫る
申入を爲して来た様であるが、突止の沙汰と言は
ざるを得ない。斯の如き申入は、世界各國に對する
宣傳と同時に自國民間に相當の奮戰氣分を
盛りこむべきこと、證據だするものであり、歯
にかりる仲要はない。」

敵は今後頻りに此の年、此の年と我國民の謀略
宣傳に躍起となると同時に、其の反面的空
襲に依つて一歩も外に出ず、破目に陥る事
も覚悟しなれば、飽迄闘志を失はず、諸々
たる氣魄を以て頑張り通すことが大切である。我が軍
の上層部と初の國策指導者は飽く迄敵の出方を
監視する必要がある。國民は之等敵の常套手段に

氣を掛くるべきでない。今後如何なる事が惹起し様と
も然教する事か所心で一々氣に掛ける事か既
に彼の諸君に承せられたる居るべきである。[

(某陸軍大臣)

三国共同声明は明に敵の意を諒解し過さぬが、
此の際斯る聲明を發表せしむる政府當局の意

意迎ふありや。今何政府が之を發表せしめたる
ことは暗に政府自身に和平の氣運を醸成せしめ
云ふべきだ。 (某軍人)

我々としては斯る諒解的放送は当然然然然とする
のがよい。彼等が組は我が國民に對する和平
と厭戦の氣分の醸成に役立つ。更に此の聲明を我

はれるから之に依つて愈々激化して来た敵機の様態
と食糧の不足とに勤からず苦痛を感ずる国民の一
部が最初敵側が唱へた苛酷の條件が相當に
緩和されて来たのを見てソロク此の辺で媾和した
と云ふ事を待つ様になり敵の謀略
が露見する。となき様大いに發言或を西女する。

(国民義勇隊幹部
某陸軍中將)

一、政界

ボツダムでトルーマン、チャーチル、スターリンの三人が会談中対日降伏条件なるものを、スターリンを除き蔣介石を加へて放送した。新聞に依ると我方は黙殺するとのことだが、それより他にあるまい。問題はあの条件が最大のものか或は最小のものかと云ふこと、三頭会談中に部外より蔣を加へて行つた矣にあると思ふ、勿論会談で東洋問題は議題に供せらるゝであらうが、我國とは中立関係にあるソ聯が斯る聲明に加はり得ないのは當然だが、それならば何故蔣を加へなかつたか

等に思を致すと凡そ会談の内容も想像されるであらう
はないか

あの放送を国内に発表するか如何か閣議で
問題となつたやうであるが馬鹿くしいにも程が
ある外国で知つてゐる事を国内に秘して何にな
るのか又敵が斯る謀略手段に出ることは当然
考へらるる処で之に対する我方の策も樹つてあ
らべきで敵が発表してから対策に迷ふ等無定見
も甚だしい

(貴族院議員某)

米英蔣三国共同聲明なるものが発表されるが
敵側の組の処は我國の戦意弱化の爲めの謀略で

あると共に一面彼等が自国内に於ける戦局終局への大きな潮流を如何とも為し得ざる為め之が流逢策である

此の際我々としては政府の発表の通り黙殺する以外に何物もあり得ないことは論を俟たざる処である

(代議士某)

「英蔣の三国共同聲明は日本に対する威嚇、國民の戦意を挫く等所謂謀略効果を狙つたものであらうが威嚇にもならずぬし何等の効果もない此の三国聲明に對してソ聯の態度は情報に依れば署名を拒つたと云つて居らざるを得ないであらう」

かり表裏的に参加し得ることは當然で凡そこの時
 盟の謀略はあつたと思はれる。三國會議を討つて、
 ソ連が今後如何なる態度をとるか、就いて、ソ連
 は困難であるが、尋ねるに、スターリンは現実主義で、
 如何なる場合でも自己の利益を方向に極めて、
 識的な外交をやる。其趣は感懐と云つたものには
 も、要ない。従つて東亞問題に付て言へば、日本が若
 し敗れる様なことがあつた場合は支那、滿洲は米
 国の支配になつて仕舞ふから、此の場合何時迄も
 中立で居たのでは、東亞に對する發言権を失ふ
 故に日米間の戦力均衡を注視して居ると云ふ

のが現状であらうし

(代議士某)

新聞界

今回対日降伏に關する米英重慶の共同聲明が、
ソタムに發せられ取扱に就ては政府に於ても種々
議論があり結局昨日の午後五時過ぎ之れを發表
することとなり各社共其の締切りを延ばして
えを取扱ったのである

之に對する一般の反響は未だ現れ居ないか
政府の方針としては之を黙殺して行くらしく之
に關しては正式の何等の表明も無かつた次第で
ある私見としては此の事實を發表すると同時

に之を破産し、其は其の家の遺言に於てある所信の
発表の欲しかりき、之を三日、日比谷公會堂に於ける
総理の演説が無期延期にまゝ、一そのも其の向の
事情が伏在する為の要上りなり、と思
ふ。

(東京新聞社幹部)

工業は認めないとは云ふて居ない、貿易も許す、日
本占領も一定期間である。そして軍國主義は駆逐
する、即ち軍閥は駆逐すると云つて居るが、戦後其
他の者に対してはとうとも言つて居ない、独逸に對
する場合は徹底的破壊殲滅を言つたが、斯様に此方
が想像したよりも寛大な降伏勸告條件だ。
上層部の一部や智識層の一部は現存する処、此の
戦争はとも勝目かかないと思つて居る連中は、ホド
した氣持になるのではないかと思ふ。
吾々の思ふのは此等の人達の、此の敵の謀略の手は
乘りなげれば良かと言ふ事である。敵にして見
れば此の様な謀略を遣る余地がある、見ても事だ

と思ふ。日本としてはいさだかなく何処迄も此の戦争は絶体に勝つ又その信念で戦ひ抜く以外には
「さうする事に依つて必ず勝つ。死か負ける事はないかと思つて戦つて行くと負ける事はない。」

(急進分子 某)

米英軍艦が共同して日本に降伏条件を聲明し、
之は敵國が内外に對する謀略的意圖より去ること
は明かだが此の天人共に許す事。去來の謀略聲明
に對して政府は何故黙殺するかの聲明の内容は重
大な價值は無いにせよ黙殺と云ふ事は國の内外
を同じく黙認と云ふ意味に解され敵の戦意は昂
揚するかも知れぬ。最近幾分昂揚したか。一國民

の戦意も低下して仕舞ふ。私は何となく所謂上層階級の意思と此の声明とは一脈相通するものがある様な気がしてならぬ。何故政府は堂々と聖戦の本義を再声明し所信に向つて邁進するの決意を公表して敵の誤用する思想を徹底的に破摧する事に努めぬのか。鈴木首相には政治力が無く鈴木内閣の实体は迫水内閣で迫水内閣は岡田内閣であつて此の岡田の背後勢力が近衛平派だと云ふ悪評があり鈴木内閣を評して和平内閣の敗戦内閣の云ふ悪評が生れるのであるから此の際聖戦の本義を再声明して目的達成に邁進して貰ふなと思ふ。

米英重慶が日本降伏の最後条件を声明したことが、
は三國共同の謀略放送に過ぎないものだから、謀略
的意義は種々あるが新聞に載つて居る程度のもの
であらう。我が政府が黙殺して願みないのは当然
である。
ボチム會議で東亞問題殊に對日戦に蘇聯と誘導せ
んとしたことを察するに余りあるが右米英重慶文で
共同声明をしたことに依つてソ聯の態度は自ら明白
となつた様だ。即ち右三國と共同にはやらないの
ご存いか
或は米英重慶文で之の苛酷な条件を發表させて
ソ聯も緩和された条件でソ聯を伴行者とし

て来る観望も一應為し得ないことはないが、左様皮肉
に廻り諷刺考へるに及ばない。

要するに、ポツタム會日談あり、米スターリン會日談なり
が對日方針に一致を見るに至らなかつたと観望
すべきではなからうか。其の一つの現れが米莫、重慶及
此の共同声明となつたものと解してよいのではない
か。如斯共同声明は誠に突止千萬と
言はざるを得ない。幸に蘇聯が盟して居らぬ
事を悦んで居る。

(右翼 某)

六 敗 界

「今田發表された米、莫、蔣三國共同声明は多々更驚く程のことではない。現に對日戦争を継続してゐる敵国としては、量に伊不利、獨逸等に行つた例に倣ひ對日諒解、宣傳、或、離上利すると云ふ消極的觀望から當田然行ふべき措置であつたことは多々更云ふ迄もない。是等之を取リ上げて云々する等のことがあつたとするならば、夫れこそ完全に敵の諒解にかつたものと云はれるを得ない。斯る見地より今田政府の執つた措置は適切であると思ふ。尚蘇聯が假令今次の三國共同案の如き意思を有して居るとしても蘇聯は未だ中立的立場にあるを以て日蘇條約が有効なる限り斯る措置に出る様なことは恐らくあるまい。

七 生産 界

(某有力社員氏)

三国共同声明は言語同断で誤解へからざるものである
三国中に蘇聯が参加してゐない事は注意を要
する。蘇聯が加はつてゐないのは蘇聯が我国に
好意を示してゐるのではなく、外交上の何物か介
在してゐるものと思ふ。

(某工場主)

三国宣言の内容は明に敵の謀略をばあるが、之
が爲我が国の戦争目的が模る様なことは
あるまい。
我等は飽迄生産一本に依り戦勝点頑張ら
ねばならぬ。

(工場幹部某)